

1. プロジェクト具体的行動計画の策定について

多摩川水流実態解明プロジェクトは、平成19年8月に「行動指針/計画」が策定され、その中で第1編 水流実態解明編においては「水流の現状評価」、第2編 行動指針/計画編においては「行動の指針や施策内容 等」に関して各自治体において共通認識が図られている。

今後のプロジェクト展開方針では、PDCA サイクルに従い望ましい水流に向けた施策を着実に推進していくこととなっており、段階的な具体的行動計画を関係行政が策定し、その進捗や成果を流域一体となって、評価・支援していくこととなる。

ここでは、各関係行政が5ヵ年程度の短期的に実施する具体的な行動計画を設定し、「多摩川水流実態解明プロジェクト 具体的行動計画」として策定することとする。

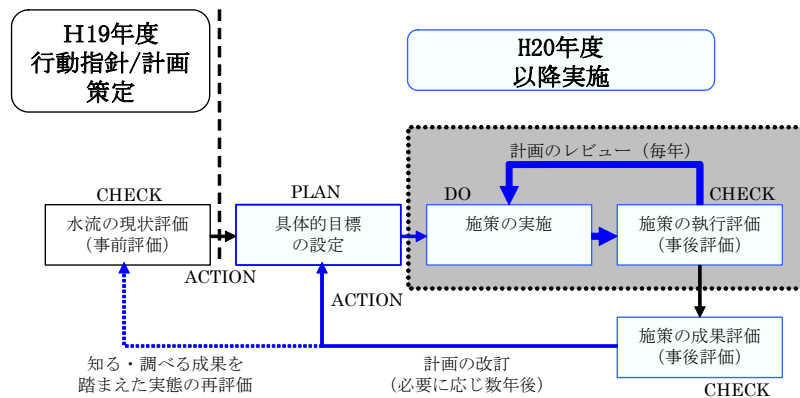


図 1 PDCA サイクルにおける具体的行動計画の位置づけ

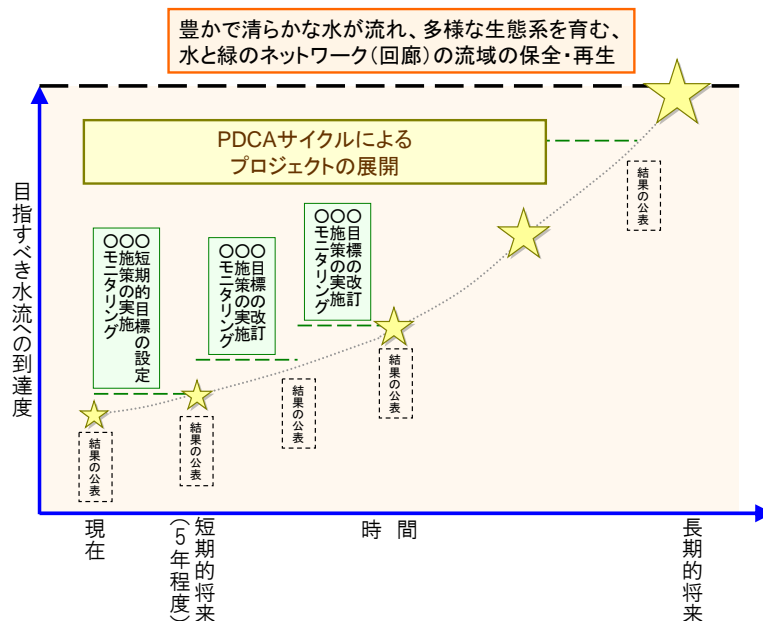


図 2 段階的な行動計画策定のイメージ